

ボランティア活動

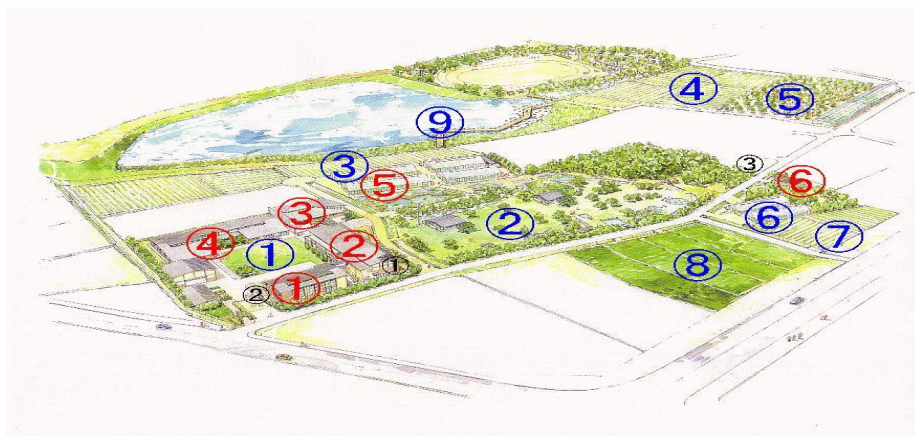
ボランティア 横田 浩

私が数年前から現在まで続けている主なボランティア活動は次の通りです。
2012年4月から3年間、神戸シルバーカレッジ(KSC)総合芸術コース・園芸専攻に学び、カレッジの校訓である「**再び学んで他のために**」に従い、園芸コースで学んだ、野菜、花、花木、農業体験を生かすべく、次のようなボランティア活動をしています。

1. 神戸市立神出自然教育園(幼稚園、小学生の農業体験場)

(1)自然教育園の概要

約4万㎡の敷地に様々な体験施設が点在しています。さまざまな自然体験学習をすることができます。作物を定植・収穫したり、観察学習として自由に園内を散策したりする活動を、日々実施しています。基本的には、月に1〜2回、自宅から約30分弱、車でのボランティア活動です。



室内学習、研修施設

① 農具室・陶芸室 ②ホール・理科室 ③食堂・チョウの展示室 ④宿泊施設・研修室
⑤植物学習館 ⑥震災学習棟

自然観察、収穫活動施設 ①芝生広場 ②川辺の広場・どろ池・ザリガニ池・水族

館・展望台 ③畑その1 ④畑その3 ⑤果樹園 ⑥ブドウのビニルハウス ⑦畑その3 ⑧畑
その4 ⑨和合成池・わくわく橋

☀️その他☀️

①職員室(AED)・トイレ ②職員・来客者用駐車場 ③教育園利用者用駐車場

学習プログラムの一例

作物観察体験

農作物体験（播種・定植→＜世話＞→収穫）

穀物学習体験〔[イネ](#)・[ダイズ](#)〕イモ学習体験〔[サツマイモ](#)・[ジャガイモ](#)〕

野菜学習体験〔[ダイコン](#)等〕

花苗植替え体験 花苗寄せ植え体験

(2)楽しいことの例

・ジャガイモ作りの手伝い(ジャガイモの植え付け、除草、追肥、収穫補助等)

植えつけ2月上旬～2月下旬、収穫体験のサポート5月下旬～6月下旬



興味深い発見!!

神戸市内の小学3年生を対象に芋掘り体験をして頂く。男女が交互に、ジャガイモの根毎に一人ずつ担当して、一斉に掘り出してもらう。女の子の方が男の子よりも沢山掘り出して、各人のビニール袋に入れている。よく観察していると、女の子の生活力は既に小3で男の子を遥かにしのいでいる。お母さんを助けて、沢山持ち帰り、食料の足しにする。男の子は、食べ物口を開けていれば入れてくれるといい、のんびり掘っている。女の子は、自分の分を掘り起こしてから、隣の男の子の領域まで手を伸ばして、掘り出している。ビックリボン!である。更に驚いたのは、先生がビニール袋に沢山の芋を入れている。最近の先生は、ケシカランとみていると、皆の周りを回って、各人に何個掘れたか聞いている。女の子は、得意げに5個と言う。沢山掘ってご苦労様!と言って次の男の子に聞く、僕2個だけと言う。先生は、何気なく3個を男の子のビニール袋に入れてあげている。これまた、ビックリボン!

(3) その他のボランティア活動

・サツマイモの作りの手伝い(写真:ビニールハウス内で芋ツルの苗作り)



一年前に収穫したサツマイモを2月にビニールハウス内に畝をつくり、サツイモを丸ごと畝に植え付け、黒ビニールのマルチを被せて水やりを毎日する。

5月上旬~6月上旬に芋づるを20~30cmに切って、芋苗を準備して、水につけ、少し根が付いた頃に、園児や小学生を指導して、畝に苗を植える。

7~8月に伸びた芋ツルの途中が土に根を下ろさないようにつる返しと草取りをする。草の中にサツマイモのツルが隠れたように草ボウボウを除草。暑い中、熱中症との闘い。

9月下旬~11月上旬に、園児や小学生を指導して、芋ほり体験をする。

・稲刈り体験



4月に苗代作りは機械で作り、端の機械が入れないところを手作業で苗代をつくる。

種まき場で種まきをして、イネ苗が 20cm 程度に成長したら 6 月に田植え体験、そのサポートは紐で植える位置を決めてやります。10 月に刈り取り体験、刈り取った稲を集めるサポート。稲刈り体験は小学生がします。

・ **イチゴ畑**(写真:ビニールハウス内でのイチゴ苗の手入れ)



イチゴの植え付けは 10 月中旬、収穫体験を 4 月下旬から 5 月下旬にして頂く。
イチゴは、ツルの先に付いたランナー取をして、6 月に二節目の孫つるからさきの芽をポットに植え付けて成長させる。収穫までに、枯れた下葉の除去、無駄花の除去、周りの除草、ランナー取等の作業を行い、収穫までのお手伝いをする。イチゴの摘み取りは主に幼稚園児がします。

・ **花苗の植え替え**

花苗の植え付け用の土作りをして、5cm 程の小さいポットに種を蒔きます。この花苗が成長して 5cm 程度になったら少し大きめの 10cm 程度のポットに植え替えます、花の種類によっては、成長に合わせて更に大きい 20cm 程度のポットに植え替えて成長させます。沢山の花のポットは学校や施設にプレゼントされて喜ばれています。
平成 30 年の花苗の種まきから出荷までの年間工程を次の表に示します。
一年中何かの花の世話をしています。

神出自然教育園 農作業年間計画（平成30年度）【 花卉 】

	種 類 (備 考)	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
温 室 ③・④	アゲラタム	播種 (プラグ)	→ 植替	→ 植替	出荷								
温 室 ③・④	インパチェンス	播種 (箱まき)	→ 植替	→ 出荷									
温 室 ③・④	ポーチュラカ		さし芽 講習会	→ 植替	出荷								
温 室 ③・④	ヒマワリ		播種 (ポット)		出荷								
温 室 ③・④	テランセラ (アキランサス)				さし芽	→ 出荷 定植							
温 室 ③・④	ハボタン				播種 (プラグ)	→ 植替 講習会	→ 出荷						
							畑仮植	→ 出荷					
温 室 ③・④	ハンジ						播種 (プラグ)	→ 植替 講習会	→ 植替	→ 出荷			
温 室 ③・④	アリッサム						播種 (箱まき)	→ 植替	→ 出荷				
温 室 ③・④	ピオラ						播種 (プラグ)	→ 植替	→ 植替	→ 出荷			
温 室 ③・④	サイネリア						播種 (箱まき)	→ 植替	→ 植替	→ 植替	→ 追肥	→ 出荷①	→ 出荷②

・ 12 月末の餅つき大会

12 月末にボランティアグループ全員の 100 人以上が集まり、慰労餅つき大会をします。ボランティア活動でコメ作り体験のサポートをした時に、一部の場所で、もち米をつくり、4 個のカマドでカマド毎に 7 臼程度の餅をつきます。つきたての餅をおろし大根で食べるのは非常に美味しいです。女性方がアンコ餅も作り、バックに白もちとアンコ餅を半々に 8 個ずつ入れて持ち帰ります。

皆で、大部屋で料理ボランティアさんが作った豚汁、おむすびで昼食をとり散会します。教育園の先生方、KSC の関係者、ボランティア仲間の親交を深め、仲間意識の絆を深める一年の良い締めくくりになっています。

2 淡路 夢舞台



神戸市立シルバーカレッジ園芸科同級生の十数人で数年前より、ここでボランティア活動をしています。夢舞台はボランティアの受け入れ態勢が素晴らしく総勢約 70 人を受け入れ、その指導、毎日の仕事の担当の割り振り、当日の案内のポイント、反省会等、女性の K 課長、Y 担当がメインですが日本一の受け入れ態勢と思います。主に春と秋の花の多い季節を中心に来客が多い時期の土日祝日に活動をしています。神戸に在住していますので、明石海峡大橋を通過する必要があり、交通費の関係で何時も同級生 3 人、一台の車に同乗して活動しています

夢舞台の全景を上、マップを次ページに示します。右下の赤く囲んだ部分は、国営明石海峡公園で、左及び上が安藤忠雄さん設計の淡路夢舞台です。

(1) ボランティア活動の色々

ボランティアガイドの申し込みは下記へ

(淡路夢舞台の見どころをボランティアガイドがご案内します。安藤建築の魅力が
いっぱいの展望テラスや、山の斜面に広がる百段苑などを回って所用時間は約 30
分。

ご希望の方は、淡路夢舞台 0799-74-1000 までお電話ください。

期間:春、秋の（祝）の土・日・祝

時間:10:00～15:00 ※最終受付 14:30

参加料:無料 ※「奇跡の星の植物館」や「淡路島 国営明石海峡公園」へ入る場合
は、別途入館料（入園料）が必要です。）

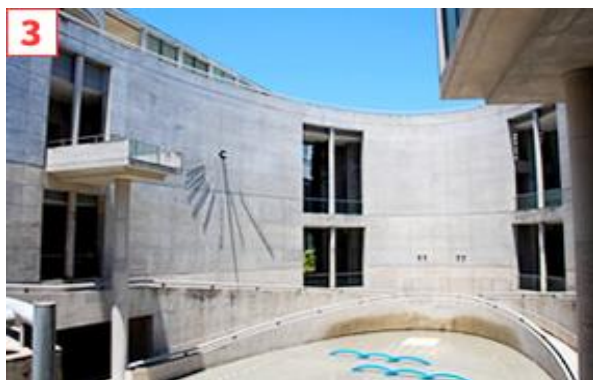
・通常の入場者に対するガイド例

台湾大学建築学科学生さん(一人)

日本語で、何処から来られましたか?とお聞きしたところ、日本語は話せませんと英語の返答。仕方なく、苦手の英語でその後のガイドをしました。やはり、花にご興味があってここに来られましたか?とお聞きすると、花には全く興味がありません、安藤忠雄さんの建築に興味があり来ましたとのこと。台湾にも安藤さん設計の図書館がありますとのことでした。

そこで先ず、話しかけた下記楢円フォーラムから説明開始、直線が殆ど無い造形、日時計等の説明を開始すると、全て、検索サイトで調べてきましたから、説明は不要ですとのこと。最近、外国人の来場者が多いです。殆どの方が、PCやiphone の検索サイトで事前に調べて来られます。

楢円フォーラム



彼は 30 分ほど楢円フォーラムをじっくりと色々な方角から注視。それから 30 分、連続的に数十枚の写真を撮影。それが、終わったら、私はここに行きたいので、場所だけ案内願いますと言われました。

案内した所は、安藤建築の代表作、兵庫県立国際会議場の淡路・菊間産の瓦
(Tile made by clay←度々外人に瓦は何でできているか聞かれます)で作ら
れた円形屋根(下記写真)

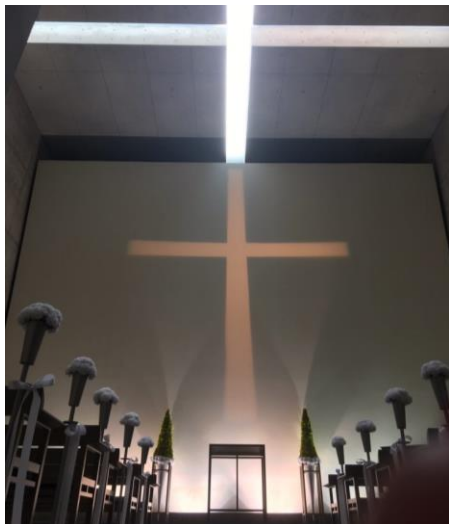


国際会議場をガイドの正装でボランティア中の私です。

代表的な太陽光で十字架を照らした次ページ左側海の教会で、9m の立方体。教会の上にはチャペルがあり、押しボタンスイッチで鐘を鳴らすことや、水辺の噴水を出すこともできます。ここの教会で結婚式を挙げる方々も良く見かけます。

一辺が 4.5m のマスが階段状に 100 個作られた下記右側花壇の百段園。
安藤建築は日本人にとって心地の良い、畳の一辺 90cmX180cm の倍数の寸法で
全てが構成されています。9m,4.5m も 90cm の倍数です。

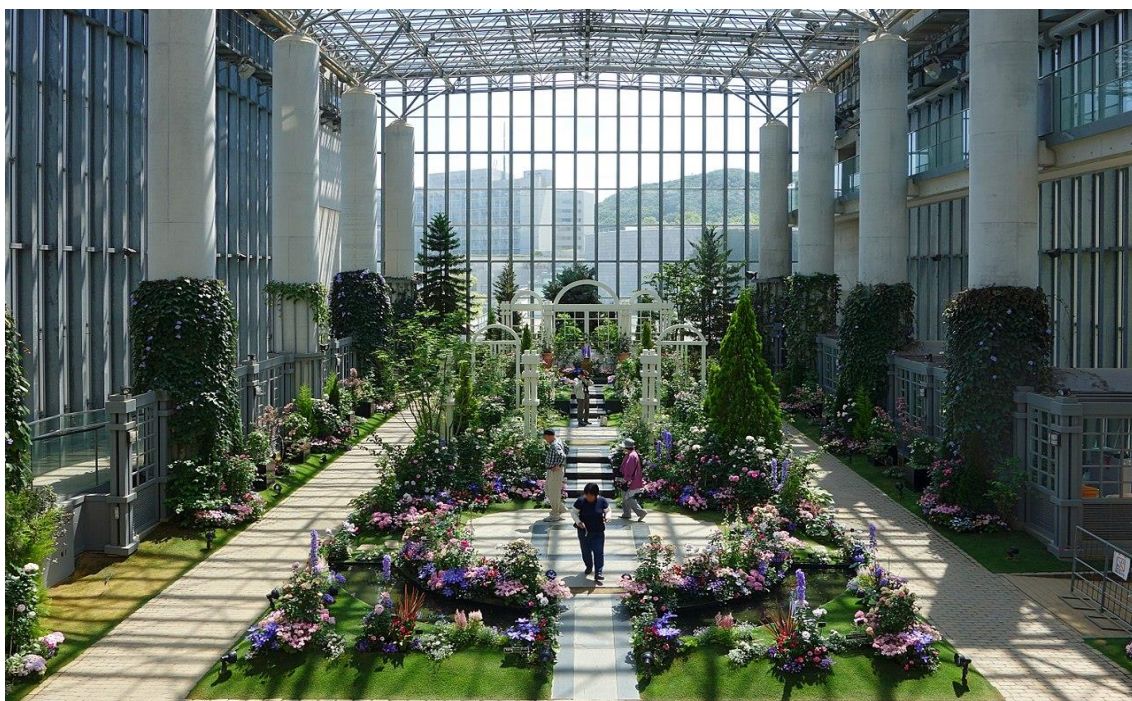
海の教会



百段園



兵庫県立 奇跡の星の植物館



- 上記の写真は、高さ 17m、幅 24m、長さ 100m の巨大な直方体がクロスした形の奇跡の星の植物館の館内です。

- ここでも結婚式を挙げる方も時々みかけます。

約 6700 m²、植物館としては日本最大級の規模の吹き抜けの空間に、乾燥地の多肉植物、熱帯の植物、温帯性の植物、高山植物等、約 3 千種 3 万株の、多様な植物を展示しています。段状に配置された各展示室の高低差は最大で 10m。上部と下部では 5 度の温度差が生まれます。「極力エネルギーコストをかけない」「環境に合う植物を展示する」。そうした考えのもと、温室上部には熱帯植物を、下部には温帯植物、地下空間には光があまり当たらない空間に育つシダ類などを展示しています。また、天井高が非常に高い空間性をいかした、様々なハンギング型のディスプレイも提案しています。

翡翠カズラ



上の写真は、フィリピン、ルソン島に自生する熱帯つる性植物です。藤のように花穂を長く下垂させ、美しいエメラルドグリーンの花を多数咲かせます。その穂の長さは、時に 1 m 以上に及ぶこともあります。長さ 7.5 cm ほどの花。ヒスイカズラの和名は、花色が宝石の翡翠（ひすい）に似ていることから名づけられました。同様に英名も、ジェードバイン（ジェード：翡翠、バイン：つる）とよばれます。

自然界には数多くの花がありますが、このように目が覚めるような鮮やかな色の花を咲かせる植物は、他ではなかなか見受けません。

栽培には高温を要し、大型になることから一般家庭での栽培は難しく、もっぱら植物園などでの栽培に限られます。

植物館では、2000 年の花博に合わせて植栽され、以後、毎年たくさん開花しています。

貝の浜



大量のホタテ貝がスラリと並んでいます。水を湛えた約一万平方メートルの敷地に安藤忠雄さんが函館の缶詰工場で廃却のために積まれている帆立て貝の殻をリサイクルのために持ち帰り 100 万枚が敷きつめられています。水と光の競演が見事です。

・ガイド事前予約グループに対する団体ガイド例

外国人(フランス人)に対するボランティアガイド例

ガイド事前予約者からのガイド後のお礼メール:

淡路夢舞台でお世話になったYです。 予定時間よりも早い時間から夕方ぎりぎりまで、案内して下さってありがとうございました。英語で案内して下さって、皆でワイワイと楽しかったです。お昼ご飯のことも気にかけてくださって、ありがとうございました(ご一緒に昼食を誘って頂きましたが丁寧にお断り致しました)。フランスから来た友人達は、彼は親切だ!と言って、皆で満足して帰路につきました。横田さんがいなければ、夢舞台で迷子(安藤さんの設計は独創的で、大胆で、創造性あふれた設計ですので、99%以上の方が迷子になります)になって帰っていたことでしょう。お陰で、楽しい思い出になりました。お願いして良かったです。感謝を込めて、写真をお送りします。次に夢舞台に行くときも、横田さんにガイドをお願いすると思います。宜しくお願い致します。(国営明石海峡公園を案内した時の写真で、左からフランス人奥様、二人目が東京で働いている次男、三人目がその奥様の日本人、四人目が旦那さん、五人目がYさん、右端がYさんの友人、中腰が私です)



私から Y さんへの返信メール:

少し英語が話せるとのこと、夢舞台の K 課長のご指名でガイドをさせて頂きました。フランスは、私も仕事や観光で何度か訪れた大好きな国です。フランス人ご夫婦と次男さん夫婦、案内を依頼された Y さん他の方々も皆楽しい方々で良い思い出になりました。一番嬉しかったのは、Y さんがフランスを旅行中に TGV でご夫妻とお会いされ、その後もメールで、交友関係を持ち、フランスの国営テレビ(F2)で夢舞台が放映され、ご夫婦が感動されて、今回の訪日!なんと素晴らしいお話に感動しました。*

ベルヌーイの定理応用の滝(Beruonulli's theorem)、公園の一面に綺麗に咲いた洋スイセンにとまった、星の数による、てんとう虫の益虫、害虫の話と、てんとう虫のフランスの歌等楽しいことが一杯でした。こちらこそ感動をありがとうございました。再訪をお待ち致します。

・各種イベント時のサポート例（絵画コンクール）



秋の紅葉時期に、安藤忠雄さんも出席して小中学生の絵画作りが行われます。

絵画を通じて感性を高めるのが目的です。

朝一の絵画作成前に安藤さんの講演があります。父兄の皆様方は、絶対に手や口を出さないで下さいとの話から始まります。ご父兄に向かって「青春とは目標に向かってチャレンジする人です!!」、年齢ではありません。お子様の教育にチャレンジして下さい。先ずスマホを辞めさせて下さい。お子様方は、将来ピカソやムンク等の名画伯になる可能性を秘めています。例えば丘に一本の木がある絵を描いて頂きますと、ご父兄様は綺麗に木全体をバランスよく描き、綺麗な色彩で完成させます。創造性に満ちたお子様は、例えば、木の根っこが大地にしがみついて、大木を支えている根っこの部分だけを力強く、大胆に描く、感性と創造性あふれた絵画かもしれません。どちらが、素晴らしい絵画かは、明白です。

当日は、絵画専門の先生がアドバイスしています。一か月後に、作品の表彰式があります。綺麗な絵が入選するのではなく、想像力溢れた、大胆な、誰が見ても素晴らしいと思える感性溢れた絵が入選しています。例えば、去年は、紅葉したツタがコンクリートの壁にしがみつくように描いた、ツタ画伯(中学生の女の子)の名画です。

審査員は安藤さん他の芸術家の一流の方々です。私達は、当日の場所のガイド、表彰式のサポートをします。

(a) よさこいフェスティバル



最近はやりのよさこいソーラン踊りを関西、四国地域から応募があったグループの競演です。安藤忠雄さん設計の橿円フォーラム、貝の浜、野外劇場で毎年秋に実施されます。勿論、審査員による表彰が有り、毎年現地産品(玉ねぎ、のり等)の素晴らしい賞品も副賞として付与されています。一番多いのは、大学の団体に数十人を超えるグループから、数人の街のお母さんグループまで様々です。百人近い団体の、一糸乱れない大胆な踊りは、迫力満点です。ボランティア活動は、各団体の誘導、各種サポートから、審査、賞品のサポートを行います。自分がサポートしたグループの方々と仲良しになり、苦労話、楽しいこと、苦しいことから学ぶことも多いです。応援も、自分が関係したグループに熱が入ります。

前ページの写真は 2019 年の野外劇場での祭りの情景です。

一糸乱れない、大グループによる壮大な振り付けの踊りは見事でした。2018 年のグランプリは総勢百人を超える神戸大学、特別賞は、十数年続けておられる、10 人程度のお年に負けない元気なお母さま方のグループでした。

注)

出典、及び参照資料

1. 神戸市立神出自然教育園:ホームページ
http://www2.kobe-c.ed.jp/szk-it/index.php?action=pages_view_main&page_id=31
2. 淡路 夢舞台:ホームページ
<http://www.yumebutai.co.jp/>